



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## **HPE OneView 5.4 リリースノート**

### **摘要**

本書では、HPE OneView 5.4 の新機能と既知の制限事項について説明します。このリリースは、HPE OneView の仮想アプライアンスを使用して HPE ProLiant サーバー、HPE Virtual Connect、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Intel<sup>®</sup>、インテル、Itanium<sup>®</sup>、Optane<sup>™</sup>、Pentium<sup>®</sup>、Xeon<sup>®</sup>、Intel Inside<sup>®</sup>および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>および Windows<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe<sup>®</sup>および Acrobat<sup>®</sup>は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java<sup>®</sup>および Oracle<sup>®</sup>は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

リリース情報 .....	4
HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明.....	5
解決済みの問題.....	7
アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間.....	9
アプライアンスのアップデートパスとリリースマイルストーン.....	9
問題と推奨処置.....	10
注記.....	15
<b>HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料</b>	
.....	<b>17</b>
HPE OneView ユーザーガイド.....	17
HPE OneView サポートマトリックス.....	17
HPE OneView のトラブルシューティングガイド.....	17
HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス.....	17
Web サイト.....	18
HPE OneView Remote Technician.....	20
サポートと他のリソース.....	<b>21</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	21
アップデートへのアクセス.....	21
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	22
保証情報.....	22
規定に関する情報.....	22
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	23

# リリース情報

本文書では、HPE OneView 5.4 のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明</a></li><li>・ <a href="#">解決済みの問題</a></li><li>・ <a href="#">問題と推奨処置</a></li><li>・ <a href="#">注記</a></li><li>・ <a href="#">サポートと他のリソース</a></li></ul>
新しいアプライアンスをインストールするか、以前の HPE OneView バージョンからアップデートするユーザー。	<a href="#">アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間</a>
<b>注記: HPE Virtual Connect から HPE OneView への移行マネージャーの機能の発表</b> HPE Virtual Connect から HPE OneView への移行マネージャーは、今後のリリースで HPE OneView から削除される予定です。	
HPE OneView の詳細については、 <a href="#">Hewlett Packard Enterprise Information Library</a> を参照してください。	
HPE OneView の以前のバージョンやアップグレードパスについて詳しくは、 <a href="#">HPE OneView ライフサイクルページ</a> を参照してください。	
❗ <b>重要:</b> この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる場合があります。Hewlett Packard Enterprise は、そのような製品または機能を商業的にリリースまたはサポートしない権利を留保します。	



# HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明

## アプライアンスのアップデートのエクスペリエンス

### ・ アップデート後の更新時間の短縮

HPE OneView 5.4 にアップデートした後、管理対象環境を表示するための更新時間が最長 20 分短縮されました\*。更新時間が短くなったため、アップデート後に環境の管理をすばやく再開できます。

\*注記：内部テストに基づいており、HPE Synergy コンポーザーおよび仮想マシンアプライアンスに適用されます。

### ・ HPE OneView Update Readiness Checker に追加された新しいチェック

HPE OneView Update Readiness Checker に新しいアイテムが追加されました。ベストプラクティスを実践するため、アプライアンスを HPE OneView 5.4 にアップデートする準備ができていることを確認するには、最新バージョンの HPE OneView Update Readiness Checker を使用してください。このツールは定期的にアップデートされており、最新バージョンは [hpe.com/support/ov-urc](https://hpe.com/support/ov-urc) から入手することができます。

## ファームウェアアップデートのエクスペリエンス

### HPE OneView SPP レポジトリの機能強化

再起動/アップグレード後に SPP が利用可能になるまでの待機時間を短縮し、SPP がオフライン状態になるインスタンス数を削減します。

## サポートのエクスペリエンス

### メンテナンスモードのサーバーの複数選択

管理者は、一般的な複数選択法（Ctrl または Shift キーを押しながら項目を選択）を使用して、同時に複数のサーバーのメンテナンスモードをすばやく有効または無効にできるようになりました。これにより、複数のサーバーハードウェアリソースでこの設定を個別に設定する必要が減少します。

## リモートサポート

### ・ Superdome Flex から HPE Remote Support データセンターへのシステム接続性のテスト

HPE データセンターへのシステム接続性を検証するテスト機能が、Superdome Flex デバイスをサポートするように拡張されました。SuperOne Flex デバイスの接続性を確認するために、HPE OneView Remote Support ページから HPE データセンター宛てのテストイベントを開始できます。テストイベントによって、エンドツーエンドの接続性を確認するためのケースが生成されます。これにより、デバイスからの後続のサービスイベントによってサポートチケットが確実に生成されるようになります。

### ・ Remote Support アラートのダッシュボード表示（RS チケットと通知）

HPE OneView ダッシュボードに、デバイスの Remote Support チケット（ケース）と Remote Support 通知を表示するのに役立つ新しい Remote Support アラート棒グラフが組み込まれました。新しい棒グラフを使用すると、HPE OneView の監視対象および管理対象デバイスについてオープンのままのチケット、クローズ済みチケット、および対応するチケットが HPE データセンターにない推奨アクションが存在する Remote Support 通知を表示できます。アクティビティ画面に表示されるクローズ済み

チケットのリストは、デフォルトでは昨年のもになりますが、より関心のあるさまざまな時間帯でリストされた項目をフィルタリングできます。

- ・ **Remote Support チケットでのサーバーの場所の特定の改善**

大規模なデータセンターを所有しているお客様が、メンテナンスが必要なデバイスの場所を特定するための支援を求めてられました。HPE OneView 5.4 では、Remote Support チケットとメール通知にラックの位置情報が記載されます。これにより、注意が必要なサーバーを特定し、そのデバイスをより簡単に見つけることができます。



# 解決済みの問題

このセクションでは、HPE OneView 5.4 で解決された問題を説明します。

- ・ 多数のボリュームアタッチメントを持つサーバープロファイルが、HPE OneView からサーバープロファイルを作成、編集、または削除するのに長時間を要する問題を解決しました。
- ・ ファームウェアのアップデートがタイムアウトし、ファームウェアアップデート操作が失敗しました。仮想メディアのマウントで障害が発生したために SPP を起動できません。エラーメッセージが表示される問題を解決しました。

詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

- ・ ファームウェアのアップデート中に、サーバーをエンクロージャーから取り外すか、サーバーをエンクロージャーに再挿入すると、HPE OneView にデバイスベイ#の変更処理中に、予期しない問題が発生しました。エラーメッセージが表示され、

さらに、サーバーを取り外したときと同じベイにサーバーを再び挿入すると、サーバーを HPE OneView に正確に追加できなくなるという問題を解決しました。

- ・ HPE OneView が予期せず終了するか、新しいバージョンにアップデートできない問題を解決しました。この原因は、プロセスがアプライアンスの内部ディスク領域を冗長データで満たすためです。この問題はまれなシナリオで発生します。
- ・ アラート、解決策、および警告に関連するいくつかの UI メッセージが、HPE OneView 5.4 で強化されています。
- ・ 仮想ポートがサーバーハードウェアタイプ (SHT) のコンバインドネットワークアダプター (CNA) で利用できないため、サーバープロファイルを編集または適用できない問題を解決しました。

- ・ サーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートに 128 を超えるボリュームアタッチメントを追加すると、HPE OneView に必要なアップデートを確認できません - 内部サーバーエラーメッセージが表示される問題を解決しました。

詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

- ・ サーバーのロケールが日本語に設定されている場合、HPE OneView が HPE Superdome Flex サーバーの BIOS 構成スキーマを取得できない問題を解決しました。
- ・ HPE OneView に非準拠ファームウェアが長期間インストールされているか、または非準拠ファームウェアのコンプライアンスチェックのオプションを無効にしていた場合、アプライアンスをアップデートまたはアプライアンスバックアップをリストアできないという問題を解決しました。

- ・ 読み取り専用権限で、REST API 呼び出しを使用してリモート Syslog サーバーを構成しようとする、そのタスクはタイムアウトになるのに、手動で終了するまで Activity ログファイルでは実行中になる問題を解決しました。

- ・ サーバーに関連付けられているサーバーハードウェアタイプ (SHT) の名前に Flex という語が含まれていると、サーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートの複数の構成設定が失われる問題を解決しました。

詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

- ・ サーバープロファイルとハイパーバイザークラスタープロファイル上のクラスターボリュームの追加ダイアログボックスに、使用可能なすべてのストレージボリュームのためにボリュームまたはクラスターボリュームを追加するためのドロップダウンオプションが表示されない問題を解決しました。

詳しくは、[カスタマーアドバイザー](#)を参照してください。

- ・ PowerShell を使用して論理インターコネクトグループ（LIG）を作成した後、UI で同じ LIG 設定を編集すると内部エラーが発生する問題を解決しました。
- ・ REST API を使用して無効なネットワーク URI（Uniform Resource Identifier）をアップリンクセットに追加すると、インターコネクトモジュールに構成エラー状態が発生する問題を解決しました。
- ・ HPE Synergy D3940 ストレージモジュールのファームウェアバージョンが、論理インターコネクト（LI）に指定されたベースラインを下回っており、かつ対応する HPE Synergy 12Gb SAS 接続モジュールのファームウェアバージョンが正しい場合、通常の LI ファームウェアアップデートを行おうとしても、HPE Synergy D3940 ストレージモジュールのファームウェアがアップデートされない問題を解決しました。





# アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間

このアップデートには、1回以上のアプライアンスの再起動が必要です。再起動を含むアップデートの完了に必要な時間は約1時間です。

インストールファイルまたはアップデートイメージをダウンロードするには、[ソフトウェアセンター](#)にアクセスしてください。

## ❗ 重要:

- ・ アップデートする前に、アプライアンスに8つの仮想CPUと24GBのメモリがあることを確認してください。
- ・ アプライアンスに元々HPE OneViewバージョン1.1以前がインストールされていた場合、仮想ディスクのサイズを160GBから275GBに変更する必要があります。
- ・ HPE OneViewをアップデートする前に、HPE OneView Update Readiness Checkerの最新バージョンをダウンロード、インストール、および実行して、HPE OneViewの正常性を評価します。このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc>にアクセスしてください。

## 詳細情報

- ・ アップデートについて詳しくは、[HPE OneView インストールガイド](#)を参照してください。
- ・ バックアップとリストアについて詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
- ・ HPE OneView Update Readiness Checkerについて詳しくは、[HPE OneView ユーザーガイド](#)を参照してください。

# アプライアンスのアップデートパスとリリースマイルストーン

## アプライアンスのアップデートパス

HPE OneViewは、バージョン5.3または5.2から5.4に直接アップデートすることができます。

## リリースマイルストーン

HPE OneView 5.4は、リリースマイルストーンです。今後は、HPE OneView 5.4にアップデートしておかないと、それ以降のリリースにアップデートできなくなります。

リリースマイルストーンは、より高速で信頼性の高いHPE OneViewアップデートを提供する強化されたアップデートアーキテクチャーを提供します。マイルストーンリリースは、次のリリースにアップデートする前の重要なステップであり、前提条件となります。将来のリリースは、HPE OneView 5.4に組み込まれた新しいアップデートアーキテクチャーに依存します。

# 問題と推奨処置

バックアップイメージから HPE OneView 5.4 をリストアした後、サーバーのファームウェアをアップデートできない

**問題：**

HPE OneView 5.4 をバックアップイメージからリストアした後、外部レポジトリにベースラインとして追加されたファームウェアバンドルを選択して、サーバーのファームウェアをアップデートすると、アップデート操作がタイムアウトします。

**原因：**

バックアップからリストアした後、HPE OneView 5.4 は特定のファームウェアバンドルのファイルをリストアしません。これらのファイルは、サーバーファームウェアのアップデートを実行するために必要です。

**推奨処置：**

バックアップをリストアした後、次の手順を実行します。

1. HPE OneView から外部レポジトリを削除し、アプライアンスが外部レポジトリに存在するすべてのファームウェアバンドルを削除するまで待機します。
2. 外部レポジトリを HPE OneView に戻します。
3. すべてのファームウェアバンドルが外部レポジトリに追加されていることを確認してから、サーバーファームウェアのアップデートを再試行してください。

**予期しない停電時、HPE OneView が自動的に再起動しない**

**問題：**

予期しない停電があった場合、アプライアンスは自力では再起動しません。アプライアンス Maintenance Console で、ルートパスワードを入力するか、またはキーボードの CTRL-D を押すように指示されます。

**推奨処置：**

次のいずれかの操作を実行します。

1. アプライアンスが起動プロセスを完了するまで、指示を受けるたびに、アプライアンス Maintenance Console にアクセスし、CTRL-D を押します。
2. HPE OneView バックアップを作成します。
3. アプライアンスを再イメージし、バックアップをリストアします。バックアップをリストアしない場合、次回再起動したときに、アプライアンスは再度 CTRL-D を押すように指示します。

詳しくは、[カスタマーアドバイザー](#)を参照してください。

**iSUT 2.4.0 以降をインストールして、VMware ESXi 6.x または 7.x を実行している HPE ProLiant Gen10 サーバーまたは HPE Synergy Gen10 コンピュートモジュールのファームウェアまたはドライバーをアップデートすると、iSUT のメモリ使用量が不必要に増加する**

**問題：**

HPE OneView のサーバーファームウェアまたはドライバーをアップデートするには、Integrated Smart Update Tools (iSUT) をインストールし、サーバーオペレーティングシステム上で実行する必要があります。ところが、iSUT を自動モードでインストールして、VMware ESXi 6.x または 7.x を実行している HPE ProLiant Gen10 サーバーまたは HPE Synergy Gen10 コンピュートモジュールのファームウェアまたはドライバーをアップデートすると、iSUT のメモリ使用量が不必要に増加します。

**原因：**

iSUT が自動モードで実行されている場合、1日で約 400KB のメモリが消費されます。

詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

**推奨処置：**

[カスタマーアドバイザリ](#)で提案された解決策に従ってください。

**SATA ドライブが直接接続され、AMS がインストールされているサーバーに、サーバーのドライブの場所とストレージ容量が表示される**

**問題：**

HPE OneView UI および REST API が、システムボードに直接接続され、かつソフトウェア RAID 構成の一部ではないドライブについて、誤ったインベントリデータを表示します。UI に、サーバーのドライブの場所とストレージ容量の誤ったデータが表示されます。

**推奨処置：**

推奨されるアクションはありません。

**ソフトウェア RAID ボリュームを定義し、それらを HPE ProLiant Gen10 Plus サーバーの「ブート可能」ボリュームとしてマークする際に発生する問題**

**問題：**

ブレード以外のサーバーでプロファイルを作成または編集しているとき、ソフトウェア RAID を使用して、ソフトウェア RAID ボリュームを「ブート可能」としてマークすることができません。これは、ソフトウェア RAID では UEFI ブートモードが必要ですが、ボリュームでブートを選択するにはレガシー BIOS モードが必要であるためです。ブート可能オプションを選択すると、HPE OneView は誤ったエラーメッセージを表示します。

**推奨処置：**

サーバープロファイルの編集中に、以下を実行します。

1. ソフトウェア RAID ボリュームから起動するには、論理ドライブでブート可能を選択しないでください。
2. サーバープロファイルを適用します。
3. サーバーのブート順序を手動で操作します。

**HPE OneView 5.4 にアップグレードした後、HPE OneView Remote Support がサーバーハードウェアに登録されない**

**問題：**

HPE OneView 5.3 から 5.4 にアップグレードした後、HPE OneView Remote Support をサーバーハードウェアに登録できなくなります。

**推奨処置：**

以下の手順に従ってください。

1. HPE OneView Remote Support を無効または再度有効にします。
2. HPE OneView アプライアンスを更新します。

**サポート対象外のバージョンからアプライアンスをアップデートしようとする、HPE OneView が誤ったエラーメッセージを表示する**

**問題：**



HPE OneView 5.0 以前のバージョンから HPE OneView 5.4 にアップデートしようとする、アプライアンスがアップロードされたイメージファイルを検証できませんエラーメッセージを表示します。

**推奨処置：**

HPE OneView 5.4 のアップグレードでサポートされる最小バージョンは、HPE OneView 5.2 です。したがって、HPE OneView 5.2 以降のバージョンから HPE OneView 5.4 にアップグレードしていることを確認してください。

インストールとアプライアンスのアップデートについて詳しくは、[アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間](#)を参照してください。

**サーバープロファイルの適用後、HPE OneView が SUT がインストールされていることを認識しなくなる問題：**

Smart Update Tools (SUT) を使用してファームウェアバンドルと OS ドライバーと共にサーバープロファイルを適用すると、HPE OneView が新しいファームウェアベースラインがサーバー X で適用されています。Smart Update Tools が Y にインストールされていません。エラーメッセージを表示します。

**推奨処置：**

サーバープロファイルを更新します。

**Internet Explorer のコンテキスト依存ヘルプの制限**

**問題：**

HPE OneView のコンテキスト依存ヘルプに、Internet Explorer のバナーと検索オプションが表示されません。

**推奨処置：**

この制限を回避するには、Google Chrome を使用します。

**カスタマイズされた帯域幅構成が論理インターコネクト GUI に表示されない**

**問題：**

HPE OneView 論理インターコネクト GUI は、インターコネクトが次のデフォルト帯域幅を持つ 24 個すべてのダウンリンクポートで構成されている場合、カスタマイズされた帯域幅構成を表示しません。

最小帯域幅構成 = 50% および最大帯域幅 = 100%。

**推奨処置：**

推奨されるアクションはありません。

**HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない**

**問題：**

HPE OneView で、複数のプロファイルの削除が同時に試行された場合、または HPE OneView アプライアンスの負荷が高い場合、サーバープロファイルを削除できないことがあります。

**推奨処置：**

サーバープロファイルを削除するアクションを再度実行してください。

---

**注記:** 削除アクションを完了できるまで、複数回実行する必要がある可能性があります。

---

**英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない**

**問題：**

ディレクトリサーバーが、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されていて、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のバージョンのブラウザを使用している場合、中国語または日本語のグループ名を選択した後にグループの追加操作を行っても、構成したグループがリストに表示されません。このことは、Active Directory、または Open LDAP ディレクトリにも当てはまりません。

**推奨処置：**

Microsoft Edge を使用します。

**スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される**

**問題：**

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

**推奨処置：**

レポートに誤った情報が表示されます。HPE OneView SSH サーバーは、スキャナーでは検知されない適切な保護を採用しています。

**ESXi FCoE Boot from SAN**

**問題：**

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、リストア、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

**推奨処置：**

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN をリストアして、SAN へのアクセスをリストアしてください。

**ネットワークアダプターポートインベントリのスロット値が不明である**

**問題：**

HPE ProLiant Gen10 ラックサーバーを備えた一部のネットワークアダプターのサーバーハードウェア > ポートビューと API portMap の場所に、ネットワークアダプターポートインベントリの不明なスロット値がある場合があります。値が見つからないのは、アダプターから HPE OneView に提供されていないデータが原因です。これはインベントリのみであるため、HPE OneView 機能への影響はありません。

**推奨処置：**

対応する必要はありません。

**サーバープロファイルから HPE Superdome Flex サーバーに BIOS 設定を適用する際に PXE サーバーアドレスが欠落している場合、URL からの起動オプションが無視される**

**問題：**

プリブートネットワーク IPv4 構成を取得するために DHCPv4 設定が有効になっており、IPv4 PXE サーバーアドレスが設定されていないかデフォルトに設定されている場合、ファームウェアバージョン 3.0.512 または 3.0.542 を使用して BIOS 設定を HPE Superdome Flex サーバーに適用すると、HPE OneView は URL1 からの起動および URL2 からの起動の各機能を無視します。

**推奨処置：**

プリブートネットワーク IPv4 構成を取得するために DHCPv4 が有効になっている場合は、IPv4 PXE サーバーアドレスを設定します。

## HCP の制限事項

### 問題：

ハイパーバイザークラスタープロファイル（HCP）の DHCP IP 割り当て用の特殊用途のネットワークとともに IP プールのネットワークを選択して構成した場合、DHCP 設定は無視され、IP プールによって、選択したネットワークに IP が割り当てられます。

### 推奨処置：

処置は必要ありません。



# 注記

## Google アナリティクスの使用

HPE OneView 4.2 から、Google アナリティクスとの統合機能が導入されました。匿名ユーザーインターフェイスの使用状況データは、ユーザーのブラウザから Google アナリティクスに送信されます。これにより、HPE は製品の使用方法と改善方法を把握できます。Hewlett Packard Enterprise は、個人情報を収集しません。

HPE OneView エンドユーザ使用許諾契約書 (EULA) に同意するときに、HPE OneView の Google アナリティクスの使用を選択します。

EULA には、Hewlett Packard Enterprise のプライバシーポリシー <https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html> およびデータ収集へのリンク (<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html#datacollection>) が含まれています。このリンクでは、Google アナリティクスのトラッキングの選択を解除する方法も説明しています。

HPE OneView 管理者は、**設定 > セキュリティ > アクションメニュー > 製品の改善メニュー**を使用して Google アナリティクスのトラッキングの選択を解除することもできます。

追加情報：

- ・ 収集される情報は、標準の Google アナリティクスのデータに、使用されている HPE OneView のバージョンのみが追加されたものです。
- ・ HPE OneView Global Dashboard は、リリース 1.5 からの Google アナリティクスも統合しています。

## サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援によるイニシエーター)

## iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 4.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

## アダプターポートの設定

レガシー BIOS モードでサーバーブレードを使用した SAN (FC または iSCSI) から起動するサーバープロファイル接続を新規作成する場合は、アダプターのポート 1 または両方のポート (ポート 1、ポート 2) が設定されている必要があります。ポート 2 のみ設定を行った場合、誤ったデバイス (通常はローカルディスク) からサーバーが起動される原因となる場合があります。この動作は、Emulex アダプターモデル 554M、650M、554FLB、556FLB、および 650FLB に影響を与えます。

## システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された際、ネットワークセキュリティの検証が行われていない場合は、HPE OneView (VC のように) の電源はオンになりません。新しいブレードが取り付けられている場合、HPE OneView はブレード/OA をチェックし、同じサーバー (UUID を使用) および構成が使用されているかを確認します。元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致する場合は、サーバーの電源が自動的にオンになります。ただし、元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致しない場合は、サーバープロファイルに新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが

表示されます。同じハードウェアタイプのサーバーがインストールされているが、HPE OneView によって認識されていない場合、再適用後にサーバーを再インストールします。新しいサーバーが、元のサーバーと一致しない場合は、サーバープロファイルを削除して正しく一致するサーバーをインストールします。

システムボードを交換する場合は、サーバーの先端に付いているタグと一致するようにシリアル番号と製品 ID を構成して UUID をアップデートします。UUID をアップデートした後、サーバーを再起動してサーバープロファイルの割り当てを解除します。これにより、サーバーの電源がオンになり、UUID がプログラミングし直して新しいサーバーを受け入れられるようになります。新しいサーバーで POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新たに取り付けられたサーバーに再び割り当てられます。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「サーバープロファイルが割り当てられているサーバーのシステムボードの交換」のトピックを参照してください。

#### **iLO 暗号化モードを高セキュリティに変更するには、iLO 認証情報を使用して iSUT を設定する必要があります**

iLO 暗号化モードを実稼働から FIPS または CNSA に変更したときは、iSUT 2.4.0.0 以降がインストールされ、iLO 認証情報を使用して構成されていることを確認してください。この手順は、HPE OneView でプロファイルを適用してファームウェアをアップデートするための前提条件です。HPE OneView を使用してファームウェアをアップデートする前に、iSUT の以前のすべてのインストール環境を iLO 認証情報を使用して構成する必要があります。



# HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料

**Hewlett Packard Enterprise Information Library** は、タスクベースのレポジトリです。インストール手順、ユーザーガイド、メンテナンスとサービスガイド、ベストプラクティス、およびその他のリソースへのリンクが含まれています。この Web サイトを使用して、次のような最新のドキュメントを入手してください。

- ・ HPE OneView のテクノロジーについて
- ・ HPE OneView アプライアンスのインストールとケーブル接続
- ・ HPE OneView コンポーネントのアップデート
- ・ HPE OneView の使用と管理
- ・ HPE OneView のトラブルシューティング

## HPE OneView ユーザーガイド

HPE OneView ユーザーガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報が示されています。

## HPE OneView サポートマトリックス

HPE OneView サポートマトリックスは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView のソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

## HPE OneView のトラブルシューティングガイド

HPE OneView トラブルシューティングガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

## HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス

HPE OneView ヘルプおよび HPE OneView API リファレンスは、HPE OneView のユーザーインターフェイスで利用できる、アクセスしやすい組み込み型のオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE OneView 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

ヘルプファイルは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手可能です。



# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

## 製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE BladeSystem エンクロージャー

<https://www.hpe.com/info/blades-ja>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

HPE Integrity Superdome X

<https://www.hpe.com/info/superdome>

HPE ProLiant サーバーハードウェア

- ・ 一般情報 : <https://www.hpe.com/info/servers-ja>
- ・ BL シリーズサーバーブレード : <https://www.hpe.com/info/blades-ja>
- ・ DL シリーズラックマウント型サーバー : <https://www.hpe.com/jp/ja/servers/proliant-dl-servers.html>

HPE Superdome Flex サーバー

<https://www.hpe.com/info/superdome>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>



Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



# HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。サポート技術者はログを直接ダウンロードし、FTP サイトを使用する必要はありません。サポート技術者が問題を診断する間、現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。



# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

### My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

## 保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

